

鉄道旅行研究部 活動報告

令和7年1月12日(日) 伊豆箱根鉄道 駿豆線^{すんずせん}撮影会(静岡県)

1. 目的

秋頃に伊豆箱根鉄道^{だいうざんせん}大雄山線で走行する「写真展示列車」や総文祭^{そうぶんさい}※1の「鉄道研究発表会」で展示する写真を撮影しました。

2. 旅程

表 簡易旅程表

7:12	川崎駅発車	
9:19	三島駅到着	
写真撮影	原木駅 ^{ばらき} 付近	
	三島広小路駅 ^{みしまひろこうじ} 付近	写真家の指導 昼食(ラーメン)
	田京駅 ^{たきょう} 付近	
	大仁駅 ^{おおひと} 付近	
15:39	修善寺駅 ^{しゅぜんじ} 出発	踊り子号乗車
16:04	三島駅到着	
	三島駅付近	お土産購入
16:48	三島駅出発	
18:27	川崎駅到着	

3. 本文

川崎駅から三島駅に東海道線の普通列車で移動しました。途中の熱海^{あたま}駅でJR東海さんの列車に乗り換えました。オレンジ色の帯をまとった313系と315系の併結列車に乗車しました。315系は昨年6月に静岡地区デビューした新型車両です。



図 熱海駅での乗換

三島駅前^{こうぶんれん}で高文達^{かうぶんれん}※2の方々と打合せを行いました。今回は鉄道写真家さんが撮影会に同行されました。特定の撮影地に常駐^{じょうちゅう}し撮影指導を受けられるとのことでした。

打合せ終了後は各校がそれぞれ考えた撮影場所へ向かいました。私達は原木駅^{かき}付近の富士山が望める撮影地に向かいました。しかし、残念ながら富士山は雲で隠れてしまいましたので、次回の撮影会に向けて富士山をイメージした写真を撮影しました。



図 富士山と列車を絡めて撮影

次に向かった撮影地は鉄道写真家さんが常駐しており写真撮影の指導を受けることが出来る三島広小路駅^{へいけつ}付近に行きました。神社や小川と列車を一緒に撮影できる撮影地で写真の撮影指導を受けました。列車が目立つ写真を撮影するもの面白いと思いますが風景の中に鉄道があることを意識^{いしき}した写真も撮影できるようにアドバイスを頂きました。



図 鉄道写真家の指導を受ける

川崎市立 川崎総合科学高等学校 定時制 鉄道旅行研究部

三島広小路駅付近で撮影をしていると昼食の時間になりました。駅の裏手に美味しそうなラーメン屋さんを見つけたのでこちらで昼食をいただきました。



図 注文したラーメン

昼食の後は近くに小川と踏切を発見したため撮影を行いました。撮影するには難しいロケーションでしたが良い写真が撮影できました。



図 小川と列車を絡めて撮影

午後からの田京駅に移動して撮影地をめぐりながら大仁駅まで歩いて撮影を行いました。初めに河川と列車と一緒に撮影できる撮影地に向かいました。駿豆線は長い鉄橋が4カ所ありますが列車の床下機器まで撮影できる場所はここだけようです。他の鉄橋は高い柵が設置されています。



図 河川と列車を絡めて撮影

次に勾配を走る列車や小さい鉄橋を渡る列車を撮影できる撮影地へ向かいました。線路と通路の間に柵が設置されていないので、安全に気を付けて撮影を行いました。付近に田畑が広がっていました。稲作の時期に訪れる機会があれば、今回とは異なる面白い写真が撮れそうです。



図 小川や勾配と列車を絡めて撮影

次に大仁地区の名山「城山」と列車と一緒に撮影できる撮影地へ向かいました。この城山は野球選手の長嶋茂雄さんが冬季オフシーズンに大仁地区へ合宿に来ていた際のランニングコースとして有名です。



図 城山と列車を絡めて撮影

次に列車を下から見上げて写真が撮れる撮影地へ行きました。盛土の草が綺麗に刈られているため、床下まで撮影することが出来ました。



図 列車を見上げて撮影

前の撮影地から大仁駅に向かう途中でツバキの花が咲いていたため、この花と列車と一緒に撮影しました。冬に咲く花も貴重なので文字通り構図の華として取り入れました。花にピントを合わせて撮影しました。画角が狭いため接近する列車をタイミングよく撮影するのに苦労しました。



図 ツバキと列車を絡めて撮影

田京駅から撮影しながら歩くこと約2時間で大仁駅に到着しました。駅前には長嶋茂雄さんを紹介する看板や無料で大仁温泉を楽しめる足湯と手湯(黄金の湯)が設置してありました。残念ながら足湯に浸かる時間はないため今回は手湯に浸かりました。程よい温度でこれまでの旅の疲れを癒すことが出来ました。

大仁駅はプラットホーム上に洗面所が設置してあり、鏡に映る列車をテーマに撮影を行いました。プラットホームに洗面所が設置してある駅は現在では珍しくなりました。国鉄などでは長距離列車の乗客が停車時間を使ってリフレッシュするために設置されたと聞いたことがありますが、大仁駅の設置理由が気になりますね。



図 鏡と列車を絡めて撮影

大仁駅からは列車で修善寺駅に向かいました。

到着後は約10分後に修善寺駅を発車する特急踊り子号へ乗車するために窓口で特急券を購入しました。特急踊り子号はJR線に直通して東京駅まで乗車できます。今回は駿豆線内だけの乗車でしたので特急料金は200円でした。約25分の優雅な特急旅を楽しみました。



図 修善寺駅で記念写真

三島駅に到着して県文連※1の方々と打合せを行いました。打合せでは本日お世話になった鉄道写真家さんから次回の写真撮影に活かせるように講評をいただくことが出来ました。

打合せ終了後は三島駅付近でお土産を購入しました。三島駅から川崎駅へ東海道線の普通列車で帰ってきました。

4. まとめ

この活動報告は県文連の鉄道研究専門部が主催した伊豆箱根鉄道駿豆線撮影会の参加記録です。当校鉄道旅行研究部から部員2名が参加しました。旅費は計画時点で4,470円(交通費)でした。

5. 資料

※1: 総文祭

神奈川県高等学校総合文化祭

※2: 高文連

神奈川県高等学校文化連盟



図 硬券で発券された特急券